



ニフロ ローラークリーナー

RS 5 SERIES
取扱説明書

ご使用になる前に必ず
お読みください。



- この製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ずこの 取扱説明書 をお読みください。
- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれが
あります。
 - お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してく
ださい。

松山株式会社

ニプロ製品をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はロータリーソワーの取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよく読み十分理解されてから、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管し、常に読めるようにしてください。
- 製品を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、すみやかに弊社、またはお買い上げいただきました販売店・農協へご注文してください。
- 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。そのような場合には、本書の内容、および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきました販売店・農協へご相談ください。
- △印付きの下記マークは、安全上、特に重要な事項です。必ず守って作業をしてください。

△危険 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

△警告 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

△注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しております。ご使用前に必ず読んでください。

もくじ

安全に作業をするために	1
本製品の使用目的	5
アフターサービスについて	5
補修部品と供給年限について	5
警告ラベルの種類と位置	6
主要諸元	7
各部のなまえと組立	8
ロータリーへの組付け	9
① 取付板の組付け	9
② 拡散板の組付け	9
③ 連結パイプの組替え	9
リモコンの配線	10
① バッテリへの接続	10
② スイッチボックス・モータの接続	10
③ スイッチボックスの取扱い	11
持ち上げ時の注意	11
移動・ほ場への出入り	12
上手な作業のしかた	12
① 作業速度	12
② 散布量の調節	12
③ 散布開度表(目安)	13
④ しゃへい板の取付け	13
⑤ シャッターの開閉	14
⑥ 振動装置	14
⑦ 連結パイプの調整	14
⑧ 作業の開始と注意	14
各部の調節	15
① シャッター開度の調整	15
② O調整	15
③ シャッターと底板の開閉	15
格納時の注意	15

安全に作業をするために

ここに記載している注意事項を守らないと、死亡・傷害事故や、機械の破損の原因になります。よく読んで安全作業をしてください。

一般的な注意事項

⚠ 警告 こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人

⚠ 警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。
ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
【守らないと】機械に巻き込まれたり、すべてて転倒するおそれがあります。

⚠ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 機械を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

機械と一緒に「取扱説明書」を渡し、必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 トラクタに作業機を装着するときは必ずトラクタの取扱説明書を読む

トラクタに作業機を装着する前に、必ずトラクタの取扱説明書を読み、よく理解してから作業機の装着をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 公道の走行は作業機装着禁止

トラクタに作業機を装着して、公道を走行しないでください。
必ず、作業機を取り外して走行してください。
【守らないと】道路運送車両法違反です。
事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 機械の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象にはなりません。

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 肥料・薬剤の取扱い

使用する肥料・薬剤の取扱い説明を読んで正しく使用してください。

【守らないと】事故・中毒を起こすおそれがあります。

点検・整備の注意事項

⚠ 注意 点検・整備をする

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 点検整備中はエンジンを停止する

点検・整備・修理、または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 点検整備は平らで固い場所でおこなう

交通の邪魔にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない平らで固い場所で、点検整備をしてください。

【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 カバー類は必ず取付ける

装着のときや、点検・整備で取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告 電気部品・コードを必ず点検する

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや結線部のゆるみがないか作業前に点検してください。

【守らないと】ショートして火災事故を起こすおそれがあります。

⚠ 注意 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。

【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

作業時の注意事項

⚠ 警告 作業機の着脱は平らな場所でおこなう

作業機の着脱は、平らで固い場所でおこなってください。

【守らないと】下敷きになったり、ケガをしたりします。



警告

トラクタと作業機のまわりに人を近づけない

トラクタのまわりや作業機との間に、人を入れないでください。

【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。



警告

作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負う
おそれがあります。



警告

肥料・薬剤の詰まりやゴミを取るときはエンジンを停止する

回転部分にゴミが巻き付いたり、肥料や薬剤等詰まったものを取除くときは、必ずエンジンを停止しておこなってください。

【守らないと】機械に巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。



注意

作業機の調整はエンジンを停止しておこなう

作業機の調整をするときは、作業機を下げ、トラクタの駐車ブレーキをかけ、P T O変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。

【守らないと】傷害事故や機械の損傷をまねくおそれがあります。



警告

重量バランスの調整をする

ロータリーソワーに肥料や薬剤をいっぱいに入れたときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。

【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。



注意

バッテリへコードを取付けるときは、順序を守る

バッテリにリモコンのコードを付けるときは、順序を守ってください。

【守らないと】ショートしてヤケドや火災事故を引き起こすおそれがあります。



危険

バッテリへコードを取付けるときは、火気厳禁

バッテリへリモコンのコードを付けるときは、火気を近づけないでください。

【守らないと】ショートしてヤケドや火災事故を引き起こすおそれがあります。



警告

傾斜地では、ゆっくり大きくまわる

傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。

トラクタ速度を落とし、大きく回ってください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。



警告

作業機の落下防止をする

作業機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」でロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 注意 ホッパー内に肥料や薬剤を入れたまま、移動や格納をしないでください

移動や格納するときは、ホッパー内の肥料・薬剤を必ず出してください。
【守らないと】成分が変質して機体の腐食や故障の原因になります。

⚠ 注意 トラクタから取外すときは、最初にスイッチボックスのコードを外す

最初にスイッチボックスとロータリーソワーをつなぐコードのコネクターを外してください。

【守らないと】コードでロータリーソワーを引っ張り、断線や機体の故障につながります。

⚠ 警告 アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する

積込み、積降ろしをするときは、平らで交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。長さのめやすは荷台高さの4倍です。

【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 子供を機械に近づけない

子供には十分注意し、近づけないでください。

【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告 安全な服装で作業する

【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 換気の悪い場所では運転しない

【守らないと】事故・中毒を起こすおそれがあります。

⚠ 警告 使用後は十分洗浄する

【守らないと】事故・中毒を起こすおそれがあります。

⚠ 警告 薬剤は取扱説明書に従って安全に処理する

【守らないと】事故・中毒を起こすおそれがあります。

【トラクタとロータリーに関する取扱い】

ロータリーソワーは、ロータリーのアタッチメントです。

トラクタへの装着・取外し・調整・作業上の注意については必ずトラクタおよびロータリーの取扱説明書にしたがってください。

本製品の使用目的

- このロータリーソワーは、畑地での土壌殺菌剤(粉剤)散布用機械です。粒状肥料散布についてはチッソ、リン酸、カリの3要素全て含まれている肥料が散布対象肥料となります。この中の1要素でも欠けている資材については、保証の対象にはなりません。
- このロータリーソワーは取付けができるロータリーが予め決められています。それ以外のロータリーに取付けた場合および、不正な改造をおこなったものについては保証の対象にはなりません。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し、点検してください。点検・整備しても不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店・農協、または弊社までご連絡ください。

なお、部品のご注文は販売店・農協に純正部品表(パーツリスト)が備えてありますのでご相談ください。

●ご連絡いただきたい内容

●型式名と製造番号

・ネームプレートを見てください。

●ご使用状況

・ほ場の条件は?

・肥料、薬剤の種類は?

・トラクタの速度は?

・ロータリーの型式は?

●どのくらい使用されましたか?

・約□□アール、または □□時間

●不具合が発生したときの状況をなるべく、 くわしく教えてください。

補修部品と供給年限について

●補修部品は、純正部品をお買い求めください。

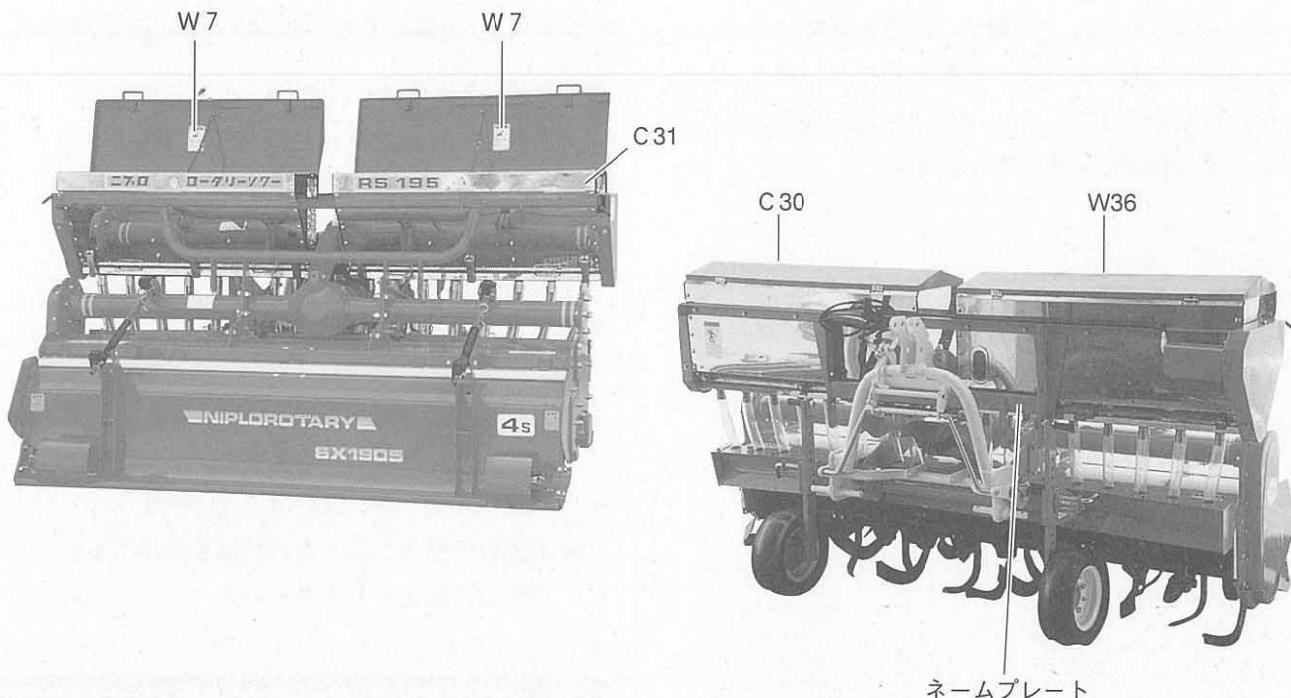
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や性能に影響する場合があります。

●この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などご相談させていただく場合があります。

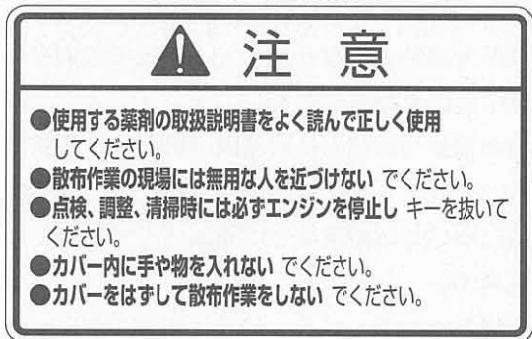
●供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期、および価格についてご相談させていただきます。

警告ラベルの種類と位置

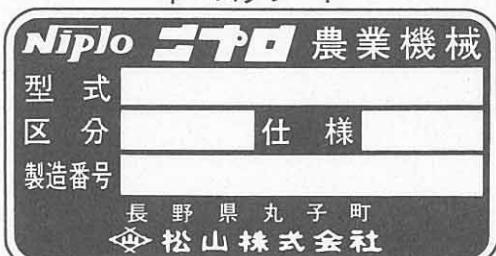
- 警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになって安全に作業をしてください。
- 警告ラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしておいてください。
- 紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた販売店、または農協へ下記型式、およびコードナンバーでご注文お願ひいたします。



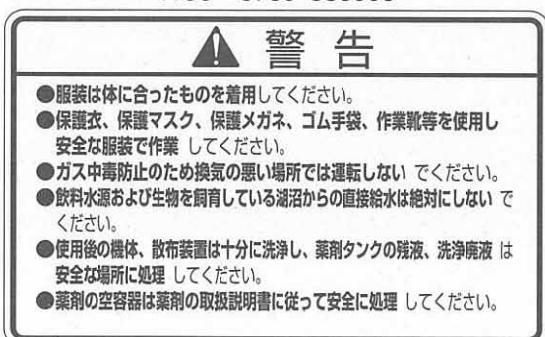
C30 8750 386000



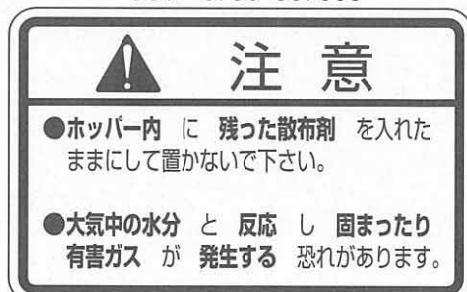
ネームプレート



W36 8750 388000



C31 8750 387000



W7 8750 324000



主 要 諸 元

型 式・区 分	RS175	RS195	RS225	RS245
全 長 mm	450	450	450	450
全 幅 mm	1885	2125	2365	2605
全 高 mm	595	595	595	595
質 量 kg	80	85	90	95
適応ロータリー幅 mm	1700、1800	1900、2000	2200	2400
ホッパー容量(ℓ)	55×2	65×2	75×2	85×2
散 布 幅 mm	1700	1900	2200	2400
繰 出 回 転 数	繰出ロール回転数 30rpm			
繰 出 方 法	モータ駆動(バッテリ)リモコン操作			
繰 出 量 調 節	シャッタースライド			
適応薬剤・肥料	バスアミド・ガスター・ネビジン・フロンサイド・化成肥料※			
散 布 能 力	13ページ散布開度表(目安)参照			
作 業 速 度 km/h	2~3			

●上記の寸法・規格は、ロータリーソワー単体の表示です。

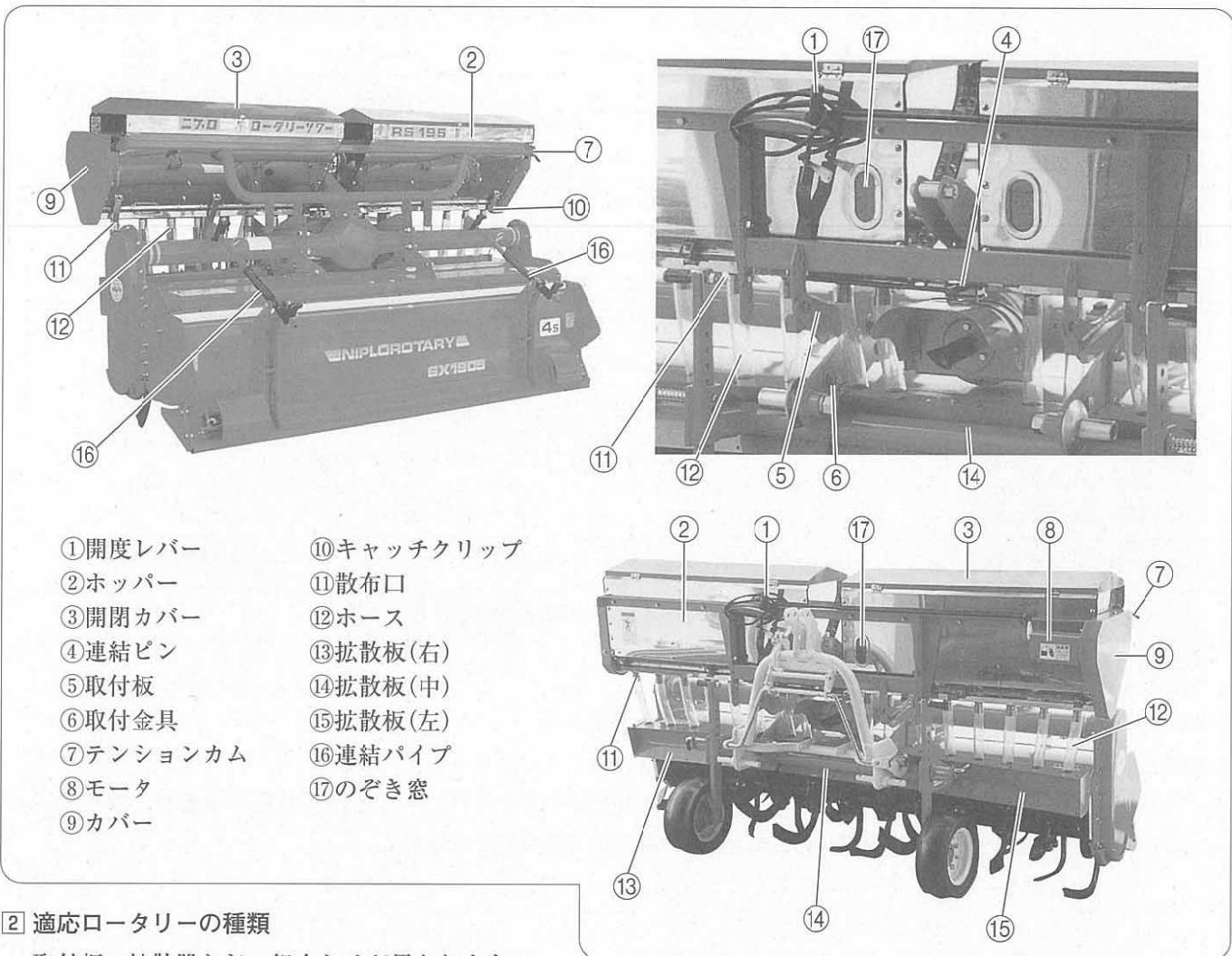
●本諸元は改良のため、予告なく変更することがあります。

※粒状肥料散布についてはチッ素、リン酸、カリの3要素全て含まれている肥料が散布対象肥料となります。

この中の1要素でも欠けている資材については、保証の対象にはなりません。

各部のなまえと組立

① 各部のなまえ



② 適応ロータリーの種類

取付板・拡散器などの組合せが異なります。

ロータリー	ソワー本体	取付部品	連結パイプ
SX1710,1810	RS175	RS175-SX10	不要
SX1910,2010	RS195	RS195-SX10	不要
SX1708,1808 SXM1808	RS175	RS175-SX08	不要
SX1908,2008 SXM1908,2008	RS195	RS195-SX08	不要
SXL2008	RS195	RS195-SXL08	不要
SXL2208	RS225	RS225-SXL08	不要
SXL2408	RS245	RS245-SXL08	不要
MXR1708,1808	RS175	RS175-MXR08	不要
MXR1908,2008 LXR1908,2008	RS195	RS195-MXR08	不要
MXR2208 LXR2208	RS225	RS225-MXR08	不要
MXR2408 LXR2408	RS245	RS245-MXR08	不要
LXR2608	RS245	RS265-LXR08	不要
DXR2208	RS225	RS225-DXR08	不要
DXR2408	RS245	RS245-DXR08	不要
DXR2608	RS245	RS245-DXR08	不要

ロータリー	ソワー本体	取付部品	連結パイプ
SX1705,1805	RS175	RS175-SX08	RS05-01A
SX1905,2005	RS195	RS195-SX08	RS05-01A
MX1705,1805 LX1805	RS175	RS175-MXR08	RS05-01A
MX1905,2005 LX1905,2005 DX2005	RS195	RS195-MXR08	RS05-01A
MX2205 LX2205 DX2205	RS225	RS225-MXR08	RS05-01A
MX2405 LX2405 DX2405	RS245	RS245-MXR08	RS05-02A
LX2605 DX2605	RS245	RS265-LXR08	RS05-02A

ロータリーへの組付け

※ロータリーの装着・取外しや調整・取扱いは、必ず
ロータリーの「取扱説明書」にしたがってください。

△注意

- 梱包を解体するときは、まわりの人や物に注意してください。
- 木枠や段ボールの「クギ・ハリ」などには十分注意してください。
守らないと、「クギ・ハリ」や木枠でケガをすることがあります。

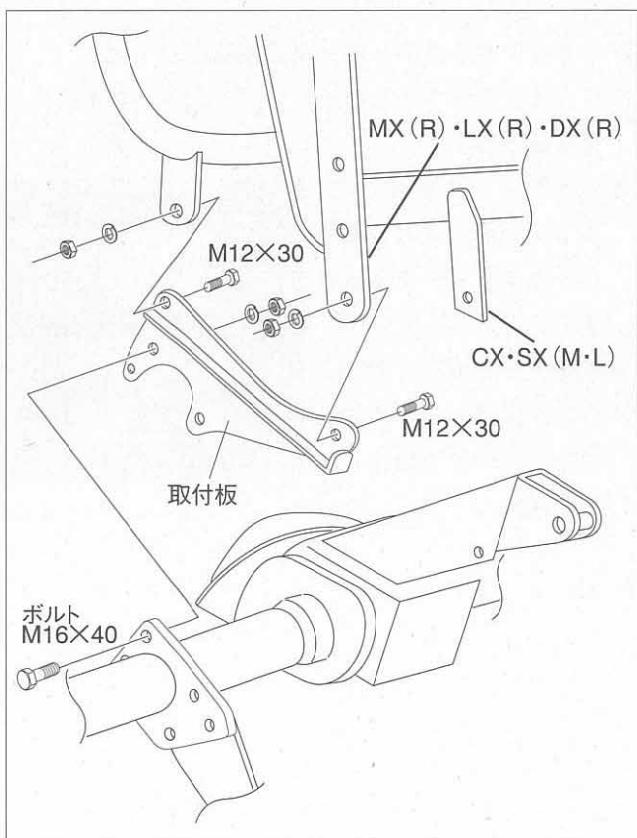
△警告

- ロータリーへの取付けは、平らで固い場所を選び、
いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。

守らないと、傷害事故につながります。

① 取付板の組付け

- (1)ロータリーのフレームパイプ(取付部の内側)に取付板を組付けます。



取付板は、締めつけないで、仮止めにしておきます。

(2)ロータリーソワー本体をチェーンブロックなどで安全に吊り上げ、取付板左右と後方脚を合わせて組付けます。

(3)取付板の前方の穴とロータリーソワーの前方脚を合わせ組付けます。

(4)組付けが完了したら、全体のボルトを確実に締めつけ、ロータリーソワーを固定します。

② 拡散板の組付け

取付部品に同梱されている組立要領書を参考に組付けてください。

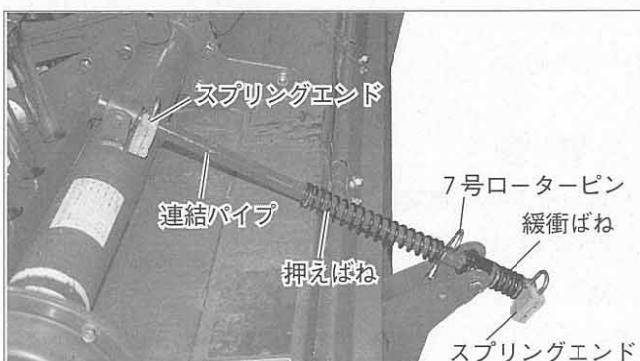
③ 連結パイプの組替え

※組替えが必要なロータリーは、前ページの適応表を参考してください。

ロータリーに組付けてある連結パイプを取り外し、専用の連結パイプに組替えます。

●7号ローターピンを図の位置に差し込み、ロータリーの後方への倒れ止めをします。08ロータリーはスプリングエンドを上から6番目の位置に合わせてください。

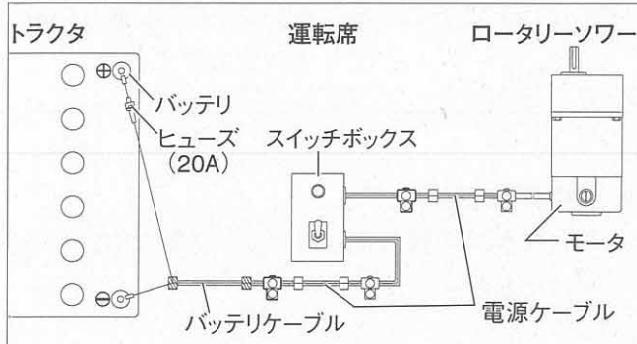
●MXR・LXR・DXRの2400幅は4本の組替えです。



リモコンの配線

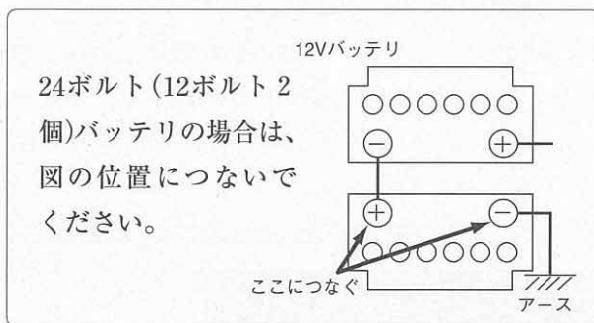
- ロータリーソワーの繰出し・停止は、リモコンスイッチでモータ駆動させます。

配線図（バッテリ直結）



ロータリーソワーで使用しているモータは、12ボルトバッテリ専用です。トラクタの取扱説明書で確認してください。

24ボルトバッテリの場合は、下図の様に取付けてください。



△警告

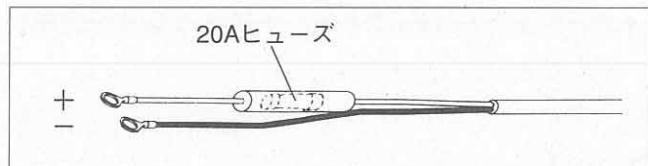
- コネクターを確実につないでください。
- 配線は燃料タンクや配管、および動く部分を避け、結束バンドで固定してください。
- バッテリにケーブルを付けるときは、火気を近づけないでください。
- トラクタ運転席付近にある外部電源取出口への接続は、やめてください。トラクタのヒューズ切れのおそれがあります。

守らないとショートして、ハーネスやモータ・スイッチボックスが焼け、ヤケドや火災事故の原因になります。

① バッテリへの接続

- 配線をするときのショートを防ぐため、バッテリのマイナス(アース)ターミナルを外します。
- プラスのターミナルを外します。
- プラス側コード(20Aヒューズ側)を取付けます。
- マイナス側コードを取り付けます。

●プラス側……20Aヒューズがついている方



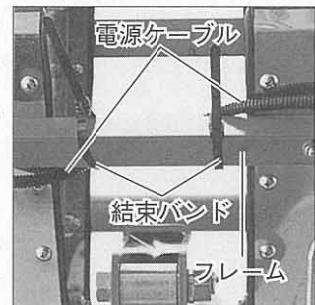
- もしバッテリケーブルの長さが足りない場合は、電源ケーブルを接続し、燃料タンクやマフラー・動く部分をさけて、全体に余裕をもった配線をしてください。

補足

- コードの取付けは確実におこなってください。
- 作動不良の多くは、ターミナル接続の不良に原因があります。

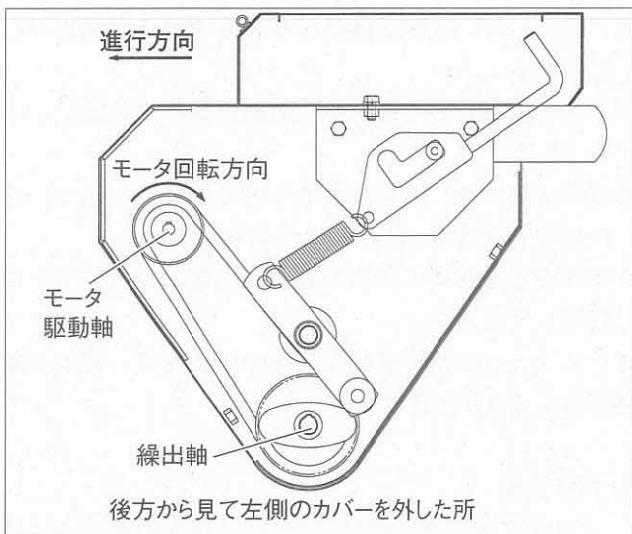
② スイッチボックス・モータの接続

- バッテリケーブルとスイッチボックスのコネクターを接続します。
- 電源ケーブルを使って、スイッチボックスとモータのコネクターを接続します。
- 電源ケーブルは、図のように本体フレームに沿って結束バンドで固定してください。



③ スイッチボックスの取扱い

- (1)スイッチボックスは同梱包のマジックテープまたはマグネットで、運転席の操作のしやすい場所に置いてください。
- (2)スイッチの「入・切」を操作してモータ・繰出軸の回転を確認します。
①スイッチを「入」にするとパイロットランプが点灯し、モータが回転します。



- ②進行方向に対して図の回転になります。

△ 注意

- 電線類をトラクタのキャビン内に引き込む場合は、リヤーウィンドウにはさみ込むことは絶対にしないで、必ず専用の引き込み口を通してください。
- 電線類は、油圧の上下にかみ込んだり引っ張られないよう余裕(たるみ)をもって、カプラやトップリンクに固定してください。
守らないと、切断やショートなど故障の原因になります。

持ち上げ時の注意

- ①トラクタに装着したときは、「最上げ」時にトラクタとロータリーソワーがぶつからないように、油圧をゆっくり上げながら確認します。振動や異音の出ない位置で油圧レバーの「上げ規制ストッパー」を止めます。特にキャビン付きトラクタの場合は、背面のガラスを突き上げないように注意してください。
- ②トラクタにより、スイッチで「最上げ」まで自動上昇する機種があるので特に注意してください。
- ③トップリンクやロワーリンクの取付穴位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合には、調整をやり直してください。

△ 注意

- トラクタの取扱説明書「3点リンク、および油圧関係」をよく読んでください。守らないと、機械の損傷やケガの原因となります。

移動・ほ場への出入り

△警告

- トランクタに作業機が付いていると後ろが長くなり、横幅も広くなります。まわりの人や物に注意して旋回してください。
- 高速走行・急発進・急停車はしないでください。旋回するときはスピードを落とし、急旋回はさけてください。
- 運転者以外の人や物をのせないでください。
- 子供には十分注意し、機械へは近づけないでください。
- 急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなりとても危険です。トランクタメーカー純正のバランスウェイトを付けてください。
- あぜ越えや段差を乗り越えるときはアルミ板を使用し、地面に接しない程度に作業機全体を下げ、重心を低くしてください。使用するアルミ板は、強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

△注意

- トランクタに作業機を装着して、公道を走行しないでください。守らないと、「道路運送車両法」違反となり、事故を引き起こす原因になります。

① 移動のときは、ロータリーソワーをいっぱいに上げ、油圧ストップバルブを完全に「閉め」、下がるのを防ぎます。ロータリーソワーが左右に振れないように、チェックチェーンを張り、ロックナットを締めてください。

② ほ場への出入りは直角に、ゆっくり前進でおこなってください。

③ ロータリーソワーに肥料・薬剤を入れて走行をしないでください。薬剤がホッパー内で詰まりし(ブリッジ現象)、均一に散布ができなくなります。また、故障の原因にもなります。

*必ずほ場に入ってから、肥料・薬剤をホッパーに入れてください。

上手な作業のしかた

耕うんのための調整・方法は、必ずトランクタおよびセットしたロータリーの「取扱説明書」をよく読んでください。

△警告

- 薬剤を散布する場合は、必ず薬剤メーカーの指定する安全・取扱注意をよく読んでください。
- マスク・ゴム手袋・防除着などの保護具を必ず着用してください。
- ガス中毒防止のため、換気の悪い場所では運転しないでください。
- 使用後の機体、散布装置は十分に洗浄し、残った薬剤は安全な場所に処理してください。
- 薬剤の空容器は、薬剤の取扱説明書に従って安全に処理してください。

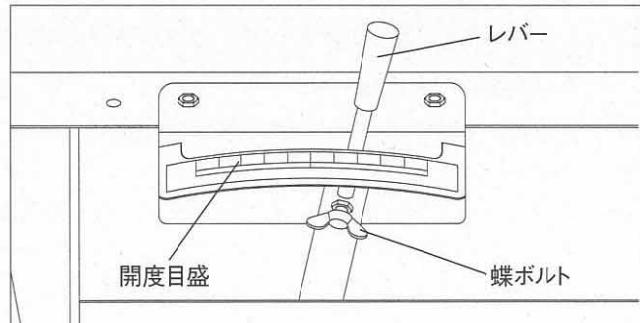
守らないと、薬剤や気化ガスを吸い込んで、重大な傷害事故につながります。

① 作業速度

トランクタの作業速度は2~3km/hが標準です。ほ場の条件や、耕うんの方法に合わせ、作業のしやすい速度でおこなってください。
開度目盛が一定の場合、作業速度が倍になると、散布量は半分になります。

② 敷設量の調節

散布開度表で合わせた目盛数値に開度レバーのセンターを合わせ、蝶ボルトでロックします。



③散布開度表(目安)

- ①10アール当たりの散布量を決めます。
- ②ほ場条件から走行しやすい速度を決めます。

③散布開度表を見て開度を選びます。

ニプロロータリーソワー 散布開度表

10a当たり散布量		kg 10	20	30	40	50	60	70	80	90	kg 100
ネビジン	2 km/時	2.2	3.0	3.5	4.0	4.5	4.8				
	3 km/時	2.5	3.5	4.2	4.7	5.0	6.0				
	4 km/時	3.0	4.0	4.7	5.3	6.3	7.0				
バスアミド	2 km/時	0.4	0.8	1.2	1.4	1.6	1.7				
	3 km/時	0.8	1.2	1.4	1.6	2.0	2.2				
	4 km/時	1.0	1.4	1.8	2.0	2.2	2.5				
粒状肥料	2 km/時	2.5	3.1	3.3	3.5	3.7	3.9	4.2	4.4	4.5	4.6
	3 km/時	2.8	3.4	3.7	3.9	4.1	4.3	4.5	4.6	4.7	4.8
	4 km/時	3.0	3.6	3.9	4.3	4.5	4.7	4.8	4.9	5.0	5.1

- 注意**
- 温度、湿度、資材の管理状態によって散布量は変動します。この表はあくまでも目安としてお使いください。
 - 粒状肥料の散布時には、付属のしゃへい板をホッパー内のゴムロール上部に取付けてから散布作業をおこなってください。粉状資材の散布時には、しゃへい板は取外してください。

④しゃへい板の取付け

散布する資材によって、付属のしゃへい板が必要となります。作業前に必ず下の説明を読んでから、散布作業をおこなってください。

- ①粒状化成肥料、えん麦 →しゃへい板をつける
- ②ネビジン、フロンサイド、バスアミド、ガスターード→しゃへい板をはずす
- しゃへい板は、ホッパー内ゴムロール上部に下図のように組付けてください。
しゃへい板は1ホッパーにつき3分割（右、中央、左）となっています。それぞれのしゃへい板の切り欠き部を、ホッパー前後をつないでいる補強板に合わせて組付けてください。



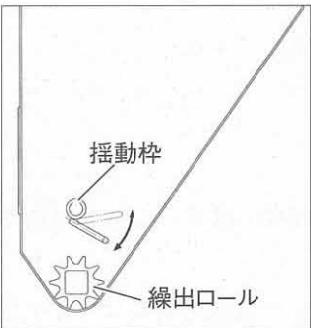
⑤ シャッターの開閉

- リモコンのスイッチは、繰出軸の回転・停止のみでシャッターの開閉はできません。
- 移動時は必ず開度レバーをいっぱいにもどして、シャッターを「閉」じてください。

⑥ 振動装置

粉剤・薬剤などがブリッジ現象をおこして、均一散布ができない場合に使用します。

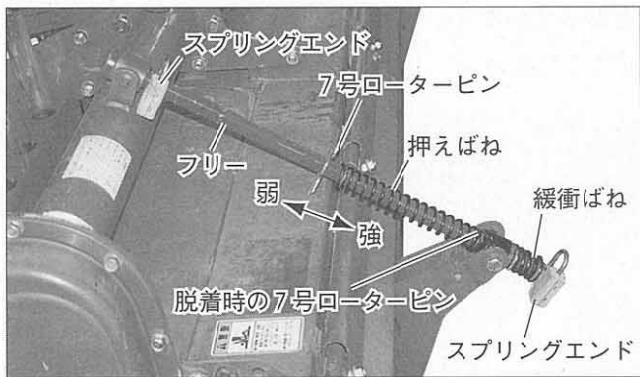
- (1) ホッパー両サイドにあるテンションカムを「入」側にすると振動軸が上下に動き、スムーズな繰出しをおこないます。



- (2) 粒状肥料の場合はテンションカムを「切」にして、振動させないでください。

⑦ 連結パイプの調整

- (1) トラクタにロータリーを装着・取外すときは、必ず7号ローターピンの位置を最下げにします。08ロータリーはスプリングエンドを上から6番目の位置に合わせてください。



- (2) 7号ローターピン(08ロータリーの場合はスプリングエンド)の位置を下げる、押さえねを効かせると均平板の押えが強くなります。

- (3) 7号ローターピン(08ロータリーの場合はスプリングエンド)の位置を上げると弱くなり、最上段の穴にすると均平板がフリーになります。

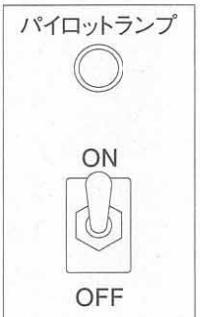
⑧ 作業の開始と注意

- 作業位置についたら、開度レバーを設定位置に開き、蝶ボルトで固定します。
- 作業のスタートと同時に、スイッチを「入」にして、繰出しを開始します。

- (3) 旋回時はスイッチを「切」にして、肥料・薬剤の落下を止めます。

補足

- 繰出ロールが回転している時のみパイロットランプが点灯します。
- モータが回転しない場合には、バッテリ部の結線およびハーネスの断線やコネクターの接続を再度点検してください。



- (4) 作業が終了したら、拡散器の下にシートなどを敷き、肥料・薬剤を全量排出してください。

- (5) ホッパー内に肥料や薬剤を残したままにしておくと、湿度や成分の変化で繰出ロールが損傷するおそれがあります。

△ 注意

- ホッパー内に肥料や薬剤を残したままにすると、湿度や成分の変化により、気化したガスで重大な傷害事故につながります。

各部の調節

△警告

- 作業機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
- トラクタのまわりや作業機との間に、人が入らないようにしてください。
- 作業機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
守らないと、死亡事故や傷害事故の原因になります。

① シャッター開度の調整

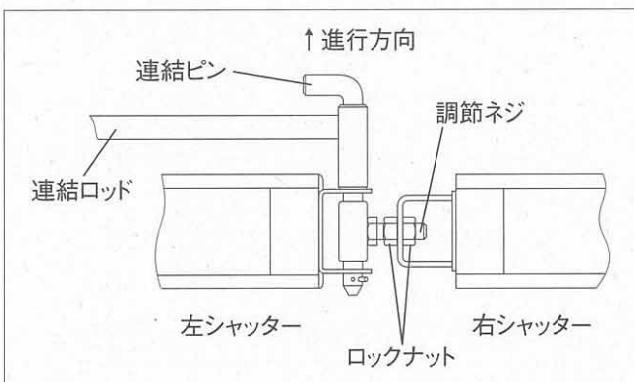
左右の繰出し量に差が出る場合は、次の調節をしてください。

右ホッパーの散布量を少なくする場合

ロックナットを右方向へ調整します。(調節ねじの出しあげが少なくなります)

右ホッパーの散布量を多くする場合

ロックナットを左方向へ調整します。(調節ねじの出しあげが多くなります)

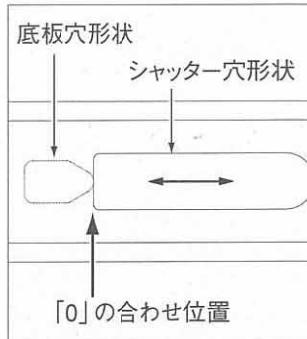


② 0調整

開度目盛を0にしても薬剤が繰出されている場合、および0になる前に散布しなくなる場合は、次の調整をおこなってください。

- (1)ホースを外して散布口をマイナスドライバー等を使用して外します。
- (2)レバーを0(開度目盛)に合わせ、蝶ボルトでロックしてから連結ピンを抜き、連結ロッドを固定しているナットをゆるめます。

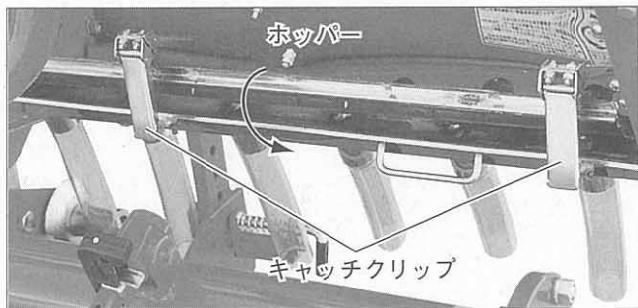
- (3)シャッターの位置を図のように0に合わせます。



- (4)シャッターが(3)の状態で連結ピンが入る位置に、連結ロッドのネジ部を合わせます。

③ シャッターと底板の開閉

- (1)頭付ピンを取り、キャッチクリップを外すとシャッターと底板が開きます。



- (2)目詰まりの解除や清掃が楽におこなえます。

格納時の注意

△警告

●格納は雨や風に当らず、平らで固い場所を選んでください。

●格納庫には子供を近づけないでください。

守らないと、機械の損傷や傷害事故につながります。

(1)肥料・薬剤は、必ず全量を排出してください。

(2)ホッパー内やシャッター部は、きれいに水洗いして水分をふき取ってください。洗浄廃液は、安全な場所に処理してください。

(3)回転部やサビやすい部分にグリースやオイルを塗り、サビ止めをしてください。

(4)作業中の不具合や故障部分は、格納前に必ず修理してください。

(5)ロータリーソワーの格納にあたっては、ロータリーのスタンドを立てず、直接爪が地面に当たる状態で保管してください。

守らないと、機械の損傷や傷害事故につながります。

—MEMO—

=MEMO=

松山株式会社

本 社 〒386-0497 長野県小県郡丸子町塩川5155
TEL(0268)42-7500 FAX(0268)42-7556

物流センター 〒386-0497 長野県小県郡丸子町塩川2949
TEL(0268)36-4111 FAX(0268)36-3335

北海道営業所 〒068-0111 北海道空知郡栗沢町字由良194-5
TEL(0126)45-4000 FAX(0126)45-4516

旭川出張所 〒079-8431 北海道旭川市永山町8丁目32
TEL(0166)46-2505 FAX(0166)46-2501

帯広出張所 〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10
TEL(0155)62-5370 FAX(0155)62-5373

東北営業所 〒989-6228 宮城県古川市清水3丁目石田24番11
TEL(0229)26-5651 FAX(0229)26-5655

関東営業所 〒329-4411 栃木県下都賀郡大平町横堀みずほ5-3
TEL(0282)45-1226 FAX(0282)44-0050

長野営業所 〒386-0497 長野県小県郡丸子町塩川2949
TEL(0268)35-0323 FAX(0268)36-3335

岡山営業所 〒708-1104 岡山県津山市綾部1764-2
TEL(0868)29-1180 FAX(0868)29-1325

九州営業所 〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10
TEL(0964)24-5777 FAX(0964)22-6775

南九州出張所 〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1
TEL(0986)24-6412 FAX(0986)25-7044



古紙配合率100%再生紙
を使用しています



この印刷物は環境にやさしい
大豆油インキを使用しています。

*05.06.